

農業委員会からのお知らせ

12月20日 農業委員会が村に建議書提出

『農業生産の振興と農村活性化並びに改正農地制度に関する建議書』

平成21年12月15日に改正農地法が施行され、農業委員会の果たすべき役割が一層重要となったことから、現在、村農業委員会には4つの部会が設立されています。その中の広報委員会の委員が中心となり、建議書をまとめ、村農業委員会の菅野宗夫会長と共に菅野村長に平成23年度飯館村農林業施策に関する建議書を提出しました。



▲菅野村長へ建議する農業委員（写真左から渡邊芳孝委員、高橋繁文委員、鈴木秀範委員、古川良一職務代理者、山岸安博委員、菅野宗夫会長）

これは、農業委員会が地球温暖化や世界情勢を踏まえ、食料・農業政策を中期的な観点から見直し、農地、担い手の育成・確保対策による食料自給率の向上、「食農教育」の食の安定供給による消費者への信頼などの多くの施策が必要であると考えた上で、地域農業者からの声を踏まえ、農業生産の振興と農村活性化のための関連予算確保などについて毎年村に建議しています。

今回は、農業の経営基盤強化の促進や認定農業者等の担い手に対する支援について、農地の遊休農地対策について、有害鳥獣等被害防止対策について、農業の持続的発展対策について、食農教育と地産地消の推進について、改正農地制度の農業委員会の体制強化に関する要請についてなど7分野にわたる予算確保及び対策について建議しました。

平成21年12月15日に改正農地法による農業委員会の新たな役割

- ①地域の担い手育成と効率的な農地利用との整合性の確保の判断
- ②貸借規制の緩和に伴う適正な判断、許可後の利用状況報告に伴う適正利用の勧告、許可取り消しの実施
- ③農地の権利取得にあたっての下限面積の弾力化の判断
- ④相続などによる農地の権利取得の届け出の受理およびあっせん等
- ⑤農地の保有・利用状況、借賃の動向など農地情報の提供
- ⑥農地の面積集約組織との連携
- ⑦毎年1回の農地の利用状況の調査と日常的な把握
- ⑧遊休農地の是正指導権限の強化（遊休農地所有者等に対する指導・勧告等）



○お問い合わせ 飯館村農業委員会 (☎42-1629)

12/4

「一筆メッセージで夫婦円満」講座を開催



▲講座の様子

村とあい倶楽部主催の「女と男のやさしい関係づくり事業」の一環として「女と男の関係をよくする一筆メッセージのこつ」講座が、まだいな家を会場に開催されました。

講座には「一筆の書き方、楽しみ方」などの著書で知られるむらかみかずこさんを講師に、村内の男女20人が参加しました。

講座では、むらかみさんが一筆メッセージのこつとして、贈る相手の顔を思い浮かべながら書くことや感謝の気持ちを忘れずに書くことなど伝授しました。

受講者は、説明を受けた後、実際にメッセージを贈るための実習を行いました。

クリスマスも近いということで一番大切な人にプレゼントを贈るときに添える内容で参加者たちはそれぞれにメッセージの内容を考えました。

参加者からは、「先生の話を聞いて自宅でも書いてみようと思った」との感想がありました。

村では、「普段言えない感謝の気持ちを一筆にして贈ることで夫婦円満などにつながってくれば」と講座の効果に期待を寄せています。

11/28 第3回いいたてポッチャ大会開催

「第3回いいたてポッチャ大会」は飯館中学校体育館を会場に行われ、村内外の14チーム53人が参加し優勝を争いました。



▲ポッチャ大会の様子

この大会は、村が子どもから高齢者、障がい者までが同一ルールで楽しみ、交流を通して絆を深め、心身の健康の向上を図ることを目的に2年前から開催されています。

大会では、上飯樋女子の「あじさい」チームが優勝を飾りました。2位には「草野」、3位には「シニアフレンド」がそれぞれ入賞しました。



▲発表会の様子

飯館村文化協会（志賀清一会長）主催の第26回芸能発表会が公民館を会場に開催されました。

発表会では9つの団体が踊りや歌など33の演目を発表し、また、今回初めて招待された飯館中学校吹奏楽部が演奏を披露し、会場に美しい音色を響かせました。

また、大会終了後にはお楽しみ抽選会が行われました。

12/5

第26回芸能発表会開催

飯館村文化協会主催